

**令和 3 年度 第 1 回新小山市民病院地域医療支援病院運営委員会
会 議 要 旨**

日 時 令和 3 年 5 月 1 9 日（水）午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分
場 所 新小山市民病院 2 階 さくらホール
出席者 委員長 副委員長
委 員

1. 開 会

2. 新委員自己紹介

3. 挨 拶

4. 議 事

1) 令和 2 年度の実績報告

- (1) 紹介患者に対する医療提供及び他医療機関への患者紹介の実績
- (2) 共同利用の実績
- (3) 救急医療の実績
- (4) 研修会の実績
- (5) 相談窓口の実績について
- (6) 在宅復帰率について
- (7) 質疑応答

○救急外来受け入れについて

- ・救急外来に新型コロナウイルス陽性患者が搬送されてきた場合、消毒等で救急再開まで約 2 時間かかる。その間に救急隊には連絡はしていないが、救急隊から連絡があった場合は、あとどのくらいで受け入れできるか答えている。今後もそれで良いか。
- ・救急隊でその情報を取ったら、通信指令課に情報が入ってくるので、病院から救急隊への連絡はいらないと思う。
- ・救急搬送は全体的に減っているが、入院はそこまで減っていない。救急搬送が適正化されていると受け止めて良いと思う。これはコロナ禍を抜けた時にとっても参考になる。病院として機能していく上で、維持する工夫が必要になってくる。
- ・以前は発熱の患者さんが行き場がなくてという話しがあったが、最近はどうか。

- ・栃木救急や他の救急からの搬送が多くなっている原因として、発熱で栃木市内受診が出来ず、当院で受けるというケースがある。
- ・先日、石橋救急から搬送された患者は、新型コロナウイルス陽性患者で、自宅療養していたが、呼吸困難を訴え、全部断られ、最終的に当院に搬送されたというケースであった。救急隊が到着した時には落ち着いていて、当院に救急搬送後は自宅に戻った。
- ・基本的に陽性患者あるいは濃厚接触者の場合には、一時的に保健所が調整している。救急隊からそういうコールがあったと報告を受けて調整している。県南管内において新小山市民病院には色々と面倒見てもらっているところが本当に多い。
- ・私達は新小山市民病院の管内なので、幸い新小山市民病院に収容頂いている。それでも4回以上問い合わせた件数は前年比でも増えている。保健所に該当する案件でなければ、症状にあった病院を選定して、濃厚接触なし、渡航歴なし、というところをしっかりと伝え連絡をしているはずなので、中々難しいところだ。

○新型コロナウイルス感染症について

- ・当院で新型コロナウイルスの患者を診ている呼吸器内科の先生が、夜中も保健所とのやりとりでほとんど家に帰れず、獅子奮迅の働きをしてもらっている。とちぎメディカルセンターしもつがの先生が1人になってしまい、非常に大変なので当院でカバーをするしかないと言っていた。
- ・とちぎメディカルセンターしもつがは、担保が少しできたようで、今は通常ベースに戻ってきている。重症者は自治医科大学附属病院や獨協医科大学病院、国際医療福祉大学病院などの北方面にも受けてもらっている。県南地区の陽性者が多い理由として、検査件数が多いことが考えられる。スプレッターがいて広めている訳ではない。保健所での検査が多い訳ではなく、一般開業医の先生達が確実に診ていて、そこからの陽性率が高い。県南地区は早くからドライブスルーをやっていた部分もある。また、外国人の陽性が比較的多いので、1人発症して家族調査をすると5人～10人という患者数になる。

変異株については、昨日の段階で県全体では317人の報告があり、イギリス株とインド株であった。県南地区はイギリス株しか出ていないが、今は6割から7割が変異株になってきている。今までと違って急に悪化する人が増えている。若いからと言って療養施設のホテルに入ってもらっても、翌日には入院転送といったこともある。

クラスターについては、県全体66件中15件が県南地区で、直近では新上三川病院のクラスターが大きかった。いつ何時あってもおかしくな

- い状況なので、それぞれの組織、家庭で、今一つ感染予防対策等をしっかりやって頂きたい。医療従事者はワクチン接種が進んできたのでそこを糧として、高齢者の方々も進めて頂くとかなり変わってくると思う。
- ・ ワクチン接種について、小山市は早く集団接種を始めたが、絶対数が少なかった為に、若干混乱があった。個別接種を前倒しで始めようと話しをしている。手上げして頂いたところは、準備が整い次第すぐにでも始めることができる。明日、明後日、説明会を開く予定で、かかりつけ患者に限って進めていく。
 - ・ 集団接種のスケジュールはどうなっているのか。
 - ・ 4月に975名対象中955名が接種2回終了した。一般の高齢者の方は6月16日から集団接種を市内の8会場でできるよう日程を組んでいる。(水)(木)(土)(日)の週4日で、(水)(木)(日)は午前午後、(土)は午後のみでスケジュールを組んでいる。概算では2ヶ月で高齢者の接種を終了する予定である。
 - ・ 接種の人員確保はできているのか。
 - ・ 医師会の先生方をお願いして配置をしているところだ。
 - ・ 65歳以上をある程度の期間に終わらせてしまえば、その後の目途はつくと思う。
 - ・ 4月に混乱があったが、予約はどうなっているのか。
 - ・ 予約については、年齢ごとに予約日を分け、10日間で受ける予定だ。電話回線が前は1つの番号で8回線だったが、今回は3つの電話番号で16回線に倍増して予約を受ける。電話の枠とインターネット枠が前は一緒だったので、インターネット枠で埋まってしまって、電話での予約が取れなかった。今回は、枠は別々にして予約を取る。
 - ・ 社会全体が混乱しているので、ある程度の混乱は覚悟して、その都度調整しながらやっていければ良いと思っている。
 - ・ ワクチンの予約の取り方で、ある程度行政でこの人はこの日だと決めてしまって、通達してしまって、もし都合が悪ければ連絡をもらうようにすれば、予約の電話等も必要ないのではという話しがあった。
ワクチン接種の人手は、塚田会長の話しだと今のところ大丈夫だという話しだが、もし歯科医がワクチンを接種するとなったら、研修等受けて協力したいと思っている。
 - ・ 野木では薬剤師も少しタッチすると聞いている。もしも小山地区でお手伝いすることがあれば言って頂ければと思う。

最後に事務局より、次回の本委員会を令和3年8月18日(水)、午後1時30分から新小山市民病院さくらホールで開催することを案内し、閉会した。